アセンブラソースレベルでのデバッグについて

Ｒｅｖ１．００　２００８／０４／０８

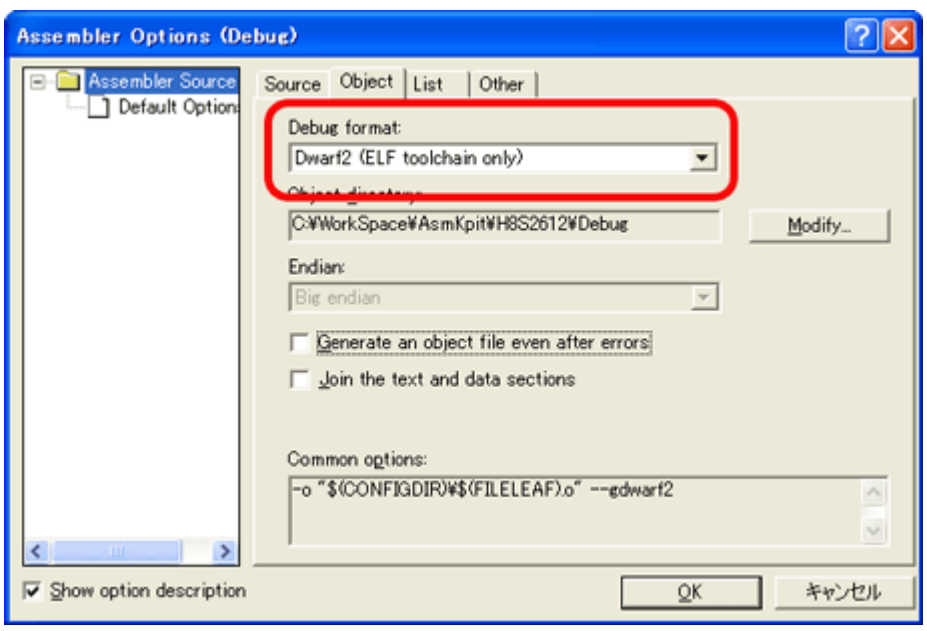
【対象】

ＫＰＩＴ－ＧＮＵ（ELF/Dwarf2）でコンパイル／リンクした全CPU品種が対象になります。

【概要】

アセンブラソースデバッグをする場合、必要な設定を説明します。

【説明】



［１－１］Ｈｅｗの設定

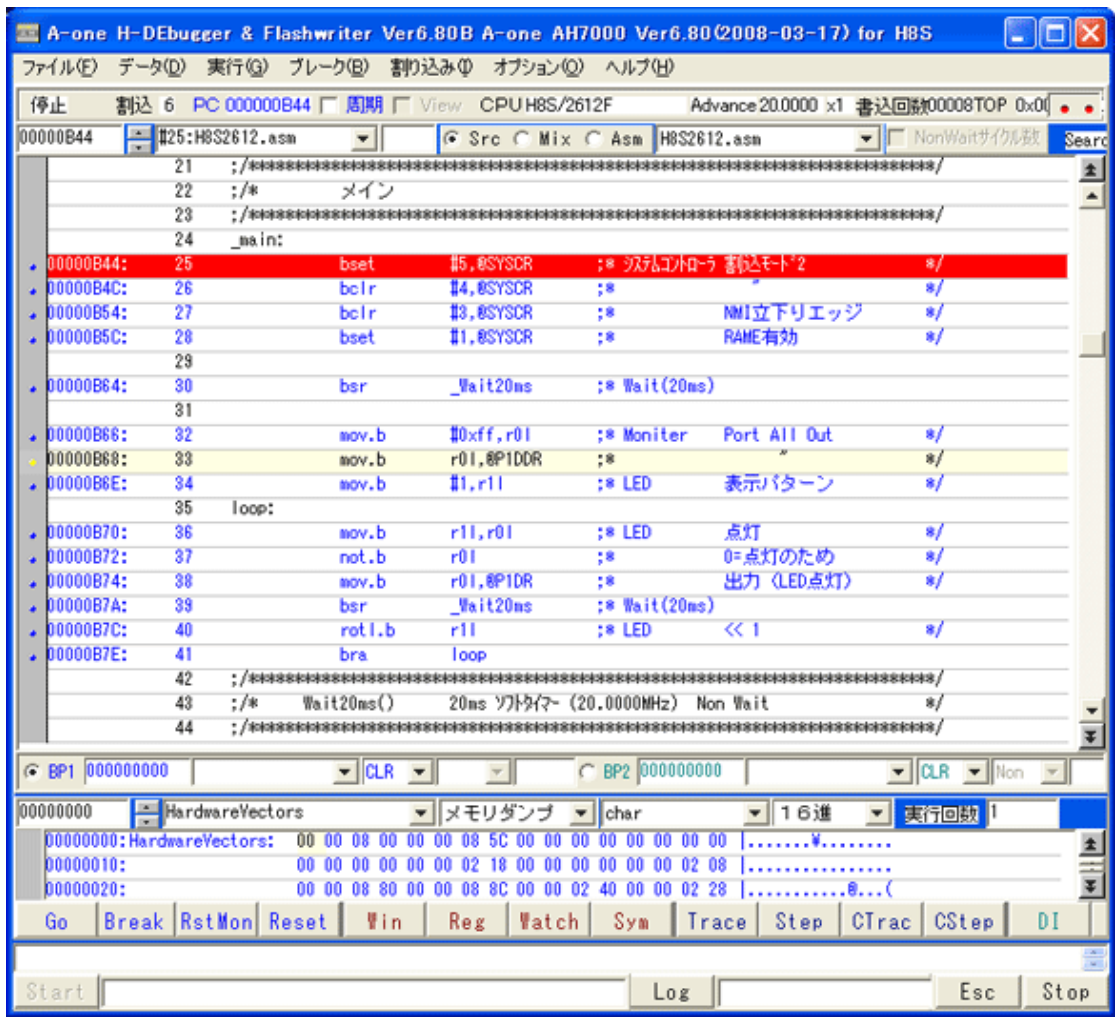
左図のように「Dwarf2(ELF toolchain only)」を確認して下さい。

デフォルトです。

［１－２］Ｈｅｗを使用せず、コマンドラインでアセンブリしている場合の設定

・アセンブラオプションに「―gdwarf2」を追加して下さい。

【ＤＥＦ表示例】



このようにアセンブラソース表示でのデバッグも可能です。

⚠

ＤＥＦバージョン６．８０Ｂより、ソース表示のラジオボタン名を「C」－＞「Ｓｒｃ」に変更しました。

以上